

ヘブル語講座アウカルト

「東風によって、あなたはタルシシュの船を砕かれる」
(詩篇48篇7節)

●「タルシシュ」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。ヨナ書1章3節には「主の御顔を避けて、タルシシュへ行こうとしたヨナ」が描かれています。「タルシシュ」は地名だけでなく、ノアの息子ヤペテの子、ヤワンの息子の名前で、この「ヤワン」こそギリシアのルーツなのです。「東風によって、あなたはタルシシュの船を打ち砕かれる」とはどういうことでしょうか。

●イスラエル(中東)の気候は夏と冬に大別され、その移行期の春や秋に吹くのが東風で、アラビア


ア砂漠から吹く強烈な熱風です。「モーセが手を海に向けて伸ばすと、【主は一晩中、強い東風で海を押し戻し、海を乾いた地とされた。水は分かれた。】(新改訳2017)出14・21」とあるように、「東風」は神の敵を打ち砕く力の象徴でもあります。詩篇48篇の場合、「タルシシュ」と対峙しているのは、神の都「シオン」(エルサレムの雅名)です。神が「東風」によって人間中心のヘレニズムの思想や文化体系を打ち砕いて、神中心のヘブル的ルーツを回復される

ことを意味します。これは神のご計画においてきわめて預言的です。

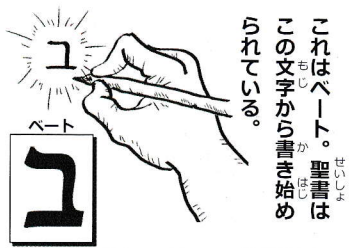
●1948年にイスラエルが国として再建されたことは奇蹟的な神のみわざです。しかしそれ以上に、二千年近く忘れられていたヘブル語が復興されたことが重要なことなのです。なぜなら、このヘブル語こそ神の概念を理解する聖なる言語だからです。ギリシア語も英語も基本形(辞書に載っている形)は1人称(私)ですが、ヘブル語の基本形は3人称(神)です。人称一つをとっても、ヘブル語は他の言語とは全く異なる性格を持っています。旧約と新約を貫く神のご計画を理解する上で、ヘブル語は計り知れない御国の扉を開くことになるのです。(銘形秀則)

はじめに神は…

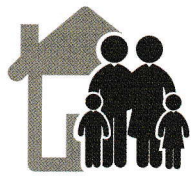
聖書ははじめヘブル語で書かれた。




これはペト。聖書はこの文字から書き始められている。



ペトには家、家族、国民という意味がある。だから…



神様が一番求めているもの。それは神の家、神の国なのだ。



発行所 宗教法人 日本神の教会連盟
 東京都練馬区羽沢二丁目二一九
 練馬神の教会内

発行者 相原典之
 編集者 沼、慎二

福岡県筑紫野市二日市北二丁目一八
 日本神の教会連盟 二日市栄光キリスト教会
 電話&FAX 〇九二(九二四)五〇九八

編集後記 (史料・機関誌委員会から)

春の花々が喜び咲き揃いました。春は新たな出発の季節でもあります。今号から新たに、「ご家庭で楽しんで頂けたらと『子育て記』」「4コマまんが」「ヘブル語講座アウカルト」の開始です。

主の愛と救いの喜びが、教会の内外に、お一人ひとりの内外に溢れますように。

お知らせ・ご案内

2019日本神の教会連盟 夏期修養会
 テーマ「内在のキリスト」
 ガラテヤ2章20節

日程：2019年8月2日(金)～4日(日)
 場所：伊豆 天城山荘
 講師：山口陽一 師

日本同盟基督教団 市川福音キリスト教会牧師
 東京基督教大学 学長

誘い合って参加しましょう!